

合宿にお子様を参加させる

保護者の皆様へ

日頃より、ティエラの教育を支える4本の柱の一つ、合宿教育にご理解を賜りありがとうございます。

また、このような状況の中で大切なお子様を参加させていただけますことに深く感謝するとともに、保護者の皆様の信頼に応えるべく、特に安全面に関しましては最善を尽くしての運営を心がけてまいります。

合宿に参加いただくにあたりまして、改めまして保護者の皆様にご理解・ご協力を賜りたいことをここに記しております。必ず事前にお読みいただき、ご了承いただいた上で、出発日に向けて万全な準備を進めていただけますようよろしくお願いいたします。

合宿での子どもたちの成長のために

集団生活では、家庭では感じる事のない「不自由な思い」をすることがあります。

自分のことは自分でしないとけません。

決められた時間内に食事やお風呂を終えなければなりません。

日常生活と比べると、厳しく感じることも、面倒に思うこともあると思います。

しかし、それを我慢する力・そして誘惑に負けず自分を律する力は、受験という壁を乗り越えるために、非常に大切な力であることは間違いありません。

そして、それに気づくために「非日常」の空間で自分で自分を律する経験をする事は重要です。

ご家庭におかれましても合宿中の生活についてご理解いただき、以下のご協力をお願いします。

■健康管理

受験本番にベストの体調で挑むことは、自分の実力を発揮するためにとても大切なことです。合宿中は自分の体調と向き合い、自分の健康を自分で管理できるようになるために、以下の取り組みを行っています。

- ・朝夕の検温と排便チェック
- ・決められた時間内で好き嫌いせずバランスよく食べる
- ・規則正しい生活

ご家庭でお願いしたいこと

合宿中の規則正しい生活に、合宿前半からスムーズになじむために、ご家庭でも是非行ってみてください。

- ① 朝ご飯をきちんと食べる。
- ② 朝、トイレに行く習慣をつける。
- ③ 食事やお風呂の時間をできるだけ固定する。
- ④ 受験本場で体調を崩さないために普段の生活でどんなことに気を付けたらいいか、話し合ってみる。

■持ち物の自己管理

合宿中は、自分の持ち物の整理や管理を自分できちんとできるように指導します。自己管理ができるということは、自分の行動に責任を持つということだからです。

また、「ものを大切に使う」姿勢にもこだわって、指導します。

ご家庭でお願いしたいこと

忘れ物をしたことを親のせいにするお子さんも見受けられます。日頃から自分の持ち物の準備は自分で責任を持って行う習慣をつけていきましょう。

- ① 荷物の準備は本人に任せてください。
- ② 持ち物全てに記名が必要です。記名も本人に任せて下さい。

※合宿中に落とし物があつた場合、終了時までには持ち主が名乗り出ず、記名がない場合は全て処分します。予めご了承ください。

重要 合宿前に提出いただくもの

①健康調査書

既往症やアレルギー、平熱など正しく記載いただくことが合宿中の健康管理上、非常に大切です。

②食物アレルギー事前調査票

配慮すべき食物アレルギーのある方は提出ください。

③当日の健康チェック表

出発当日の健康状態をお知らせいただくため、当日忘れずにご持参ください。1週間前からは健康観察を行っていただき、専用フォームからも送信いただけます。

④健康保険証のコピー

■合宿中の食事

成長期のお子様をお預かりするにあたって、食事は非常に大切なものであると認識しています。合宿中の食事については、管理栄養士の先生に監修いただいた「子どもに食べさせたい食事」を提供するよう宿舎に協力いただいています。

- ①玄米の栄養価を残した搗き立ての七分搗き米を使ったご飯を出すこと
- ②化学調味料ではなく天然だしを使ったお味噌汁を出すこと
- ③食品添加物に漬かったものではなく、きちんと発酵させた漬物を出すこと
- ④地元の旬の素材を使った和食中心の献立を柱とすること

玄米の栄養価を残したご飯を主食としているのは、玄米に含まれる微量ミネラルや食物繊維が身体機能の調節に大切な役割を果たしているからです。子どもたちが好きな小麦粉を使った主食（パンやパスタなどの麺類）にあわせた献立は糖質・脂質過多に陥りやすく、微量ミネラルを補給できずに「なんとなくだるい」「もたれる」という不調を引き起こす原因となります。ご飯を主食とし、お味噌汁や漬物といった発酵食品をいただくことは、毎回の食事に必要な栄養をきちんと摂り、便秘による腹痛やミネラル不足による不調・エネルギー不足に陥ることなく、勉強やその他の活動に最後までしっかり取り組むことに繋がっています。

合宿中の食事の基本は「子どもに食べさせたい食事」であることをご理解の上ご参加ください。



朝食イメージ



昼食イメージ



夕食イメージ

■合宿中の連絡

子どもたちの自立心育成のため、合宿期間中は緊急時以外のご家庭からの連絡は禁止とさせていただきます。

緊急時のみ、実施要項に記載の緊急連絡先に直接ご連絡ください。

重要 合宿地からの連絡について

①電話番号

万が一合宿中に発熱や怪我により病院を受診する場合は参加者カードに記載の緊急連絡先にお電話します。期間中連絡が取れる電話番号をご記入ください。

②合宿公式LINE

合宿の移動等全体に関わる情報は公式LINEにて発信します。実施要項に記載のQRコードより事前に登録をお願いします。

集団生活を安全に運営するために

宿泊を伴う集団生活を安全に運営するために、参加者の健康管理にはスタッフ一同細心の注意を払っています。

できるだけ多く子どもたちに参加いただけるよう、可能な限りの体制を取りたいと考えていますが、お子様の健康状態によっては責任を持ってお預かりできない場合もあります。

お預かりすることで、他の参加者に感染するリスクがある場合や、必要なケアを行うことがプログラムの性質上不可能な場合、または必要なケアをするための人的体制を取ることによって合宿全体の運営に支障が出ると判断した場合は参加をお断りさせていただくことがあります。何卒ご了承ください。

■感染症に罹った場合

「新型コロナウイルス」「インフルエンザ」「結核」「はしか」「水ぼうそう」といった感染症は感染力が圧倒的に強く、集団生活を送る上で感染を防ぐことは非常に難しいことが特徴です。これらの病気への感染が疑われる場合には、参加を見合わせていただきますのでご了承ください。

感染が疑われる場合とは

- ① 当日の朝の体温が37.5度以上または当日の健康チェック表に記載の項目に1つでも該当する場合
- ② 合宿2日前から学校等身近なところで上記感染症の発生があり、朝の体温が37.5度を超える場合
- ③ 保健所から濃厚接触者と認定されている場合
- ④ 当日の朝に同居の家族に37.5度以上の発熱または当日の健康チェック表に記載の項目に1つでも該当する場合

※ 出発1週間前からの健康観察で同居家族に新型コロナウイルス感染が疑われる症状があった場合は医師の診断を受け、合宿参加についてご相談ください。

■薬を持参される場合

合宿に薬を持参される場合は、常備薬・処方薬を問わず服用についての指示書を薬と一緒に持たせた上で、当日の健康チェック表に薬の服用のタイミングをご記入ください。薬は原則として自分自身で管理・服用していただきます。当社スタッフは吸入器での吸入をさせる、エビペンを打つといった医療行為はできませんので予めご了承ください。

当社で用意している経口薬は非アスピリン系の鎮痛剤（パファリン）のみです。非アスピリン系の鎮痛剤の服用に問題がある場合は、健康調査書の薬についての欄の「自身で常備薬を持参する」に○をつけ、普段使っている鎮痛剤をご持参ください。

■安全管理

①移動について

集合解散場所から現地まで、当社スタッフが引率します。集合解散の時間と場所は、出発2週間前までに教室からご連絡します。

貸切バスを利用するコースにおいては一般道路・高速道路にかかわらずバス乗車中は必ずシートベルトを締めるよう乗車時にスタッフが指導します。合宿で利用する貸切バス事業者は道路交通法など法令遵守を徹底し安全運航に最善を尽くしている会社ですのでどうぞご安心ください。

■配慮すべき病気や怪我がある場合

- ・現在治療中の病気がある
 - ・喘息等の持病がある
 - ・現在症状は出ていないが、癲癇(てんかん)などの既往症がある
 - ・日常生活に制限がある
 - ・除去食が必要なアレルギーがある
- 上記のような合宿中配慮すべき事項がある場合は、健康調査書に漏れなく記載の上、事前にご提出ください。記載内容によっては、現地での対応ができないため参加をお断りすることもあります。また、特に治療中の病気がある場合には、かかりつけ医に相談の上結果をお知らせいただいたり、診断書の提出をお願いすることもあります。予めご了承ください。

お預かりできない例

- ・アレルギーが多すぎて代替メニューが用意できない。
- ・万が一、発作が出たときの対応が保証できない。
(最寄りの医療機関到着までに時間がかかる)
- ・重度の糖尿病でインスリンを打つなど医療行為が必要な場合。

重要 万が一、現地で病気になった場合

合宿期間中は毎日朝夕の検温を行い体調の変化に早めに気付ける体制をとっていますが、万が一、現地で発熱したり怪我をした場合は、宿舎近くの指定病院で治療を受けさせます。病院を受診する際は、必ず参加者カードに記載の緊急連絡先にご連絡いたします。

医師の指示により、保護者のお迎えをお願いすることもあります。特に感染症が疑われる場合には、保護者がお迎えに来られるまで自室に隔離した状態で過ごしていただくこととなります。この場合、当社スタッフが連れて帰ることはできません。予めご了承ください。

尚、合宿の宿舎選定にあたっては、最寄りの医療機関までの所要時間と移動手段を検討した上で宿舎を決定しています。

また、看護師に同行いただき、現地での体調不良に迅速かつ適切な判断ができる体制を取っています。

②災害に備えて

台風や地震など予期せぬ事態により合宿スケジュールを変更することがあります。その際は子どもたちの安全を第一に判断し速やかに公式LINEでご連絡します。必要な情報収集や指示系統確保のため、現地への問い合わせはご遠慮ください。

尚、宿舎には避難経路等の情報を事前にいただき、到着時に参加者全員で避難経路を確認しています。

写真と感想文の取り扱いについて

合宿中は活動の様子を写真および動画にて撮影させていただきます。撮影した写真については後日参加者だけが閲覧できるオンラインアルバムに掲載し、30日の期間限定で参加者が閲覧・ダウンロードできるようにいたします。写真閲覧のためのURLおよびパスワードは合宿終了時に参加者に配布しますので、ご家庭でお子様の思い出話とともに楽しんでください。ただし、掲載している写真のSNSやWebサイトへの掲載・複製・頒布・二次使用転載はご遠慮ください。

合宿最終日に、参加者全員に感想文を書けてもらいます。感想文は、合宿を振り返り、次の成長に繋げるための大切な活動のひとつです。

提出された感想文の著作権は、当社で管理させていただきますので予めご了承ください。

合宿中の写真・動画・感想文を次年度のパンフレット・ポスター・チラシ・Webサイト等の広告物に掲載させていただくことがあります。掲載に同意されない方は、事前に「個人情報不同意届」を所属の校舎にご提出ください。ただし、集合写真や個人の特典が難しい遠景写真はこの限りではないこと、また保護者会や説明会でのスライドショー上映での使用についてもこの限りではないことを予めご了承ください。



※写真は2019年のものです

合宿についてのご質問は各教室または合宿教育部まで

合宿教育部 ☎078-371-1601 (月～金9:00～17:00 土日祝休)

<https://g-tierra.com/gasshuku/>